

1. 整備方針

- ・定山溪小学校の校舎は老朽化(築58年)しており、また、敷地も狭小であることから、当該小学校を定山溪中学校の敷地に移転させ、義務教育学校としての校舎を新たに整備します。
- ・当該校舎には給食調理室、郷土博物館を整備するほか、児童会館との複合化を図ります。
- ・現在の中学校の屋内運動場は、床や照明等を改修して活用します。

2. 計画地の概要

計画地は札幌市中心市街地から直線距離で20kmほどの距離があり、国道230号線から分岐した道道小樽定山溪線沿いに位置しています。近隣には温泉街が広がり、支笏洞爺国立公園普通地域にも指定されている観光地です。

学校周辺は戸建て住宅やマンション、介護施設等からなる閑静な住宅街です。

(1) 校区

小金湯、定山溪温泉東1丁目～4丁目、定山溪温泉西1丁目～4丁目、定山溪

(2) 敷地条件

計画地 : 札幌市南区定山溪温泉西1丁目31番地

敷地面積 : 20,763 m²

用途地域 : 第二種住居地域 (建ぺい率60%、容積率200%)

日影規制 : 2.5時間、4時間

その他 : 札幌市景観計画区域、宅地造成工事規制区域、景観まちづくり推進地区(定山溪地区)、支笏洞爺国立公園(普通地域)



■周辺環境図

(3) 現況敷地

- ・敷地は白井川と豊平川に挟まれるように位置し、周囲の道路に沿って変形しています。
- ・現校舎と屋内運動場がある敷地西側とグラウンドの間には高低差があり、また敷地南側に比べ北側が低い地形です。
- ・敷地南側にはマンションや介護施設が立地し、北側には定山溪の山並みが広がります。
- ・現校舎は南側の市道に沿って立地し校舎北側は空地となっています。また北側の敷地境界線に沿って樹木が茂っています。

(4) 既存建物

- ・校舎棟は、昭和56年に地上3階建てで建設しています。
- ・屋内運動場は、昭和59年に建設しています。

3. 新築施設の概要

- 校舎 : 木造約3,370 m² (給食室約170 m²含む)
- ・普通教室 9教室
 - ・特別支援教室 2教室
 - ・特別教室 6教室 (理科室、家庭科室、音楽室、技術室、図書室、教育相談室)
 - ・多目的室 2教室 (うち、1教室はICT対応)
 - ・管理諸室 (校長室、職員室、保健室、用務員室、放送室、会議室、教材室、物品庫、職員更衣室)
 - ・その他諸室 (PTA・コミュニティスクール室、給食室、配膳車置場、トイレ等)
- 児童会館 : 約150 m²
- 郷土博物館 : 約75 m²
- 屋内運動場(既存) : 約860 m²
- 屋外環境施設 : 物置、温室、教材園



■現況配置図

■配置計画案比較表

	平屋建て案	2階建て案
共通事項	<ul style="list-style-type: none"> ・構造は木造を想定 ・既存の屋内運動場を利用 	
凡例	<ul style="list-style-type: none"> ■ 普通教室・特別支援学習室 ■ 特別教室・多目的室 ■ 管理諸室 ■ その他 ■ 児童会館 ■ 郷土博物館 	
共通事項	<ul style="list-style-type: none"> → 児童動線 → 給食、サービス車両動線 → 一般車両動線 	
日影ライン	時間：冬至 8:00-15:00 測定面：1F GL±0	
学習環境	○ ・普通教室が特別教室や多目的室を介して南北に向かい合うことで、日常的に異学年の活動が感じられる	○ ・普通教室が南面に一列に並び、ワークスペースを介して異学年と交流ができる
採光・通風	○ ・ワークスペースの上部高窓により全体にわたり採光通風をバランスよく確保できる	△ ・1階内側の採光を確保しづらい
安全性	○ ・職員室から昇降口や通学路を確認しやすい配置	○ ・職員室から昇降口や通学路を確認しやすい配置
メンテナンス性	○ ・平屋のため、雪庇の対処が地上からできる ・外壁の改修時に足場が不要となる	△ ・2階建てであるため、雪庇の対処は屋上に上がる必要がある ・外壁の改修時に足場が必要となる
経済性	— ・建築面積が大きい分、基礎や屋上防水等の費用がかかる ・防火区画を1,500㎡以内毎までに抑えられ、耐火構造の壁、防火戸の費用が抑えられる	— ・建築面積と外皮面積が抑えられるため基礎や屋上防水等の費用が抑えられる ・EVや2階床の防音対策の費用がかかる ・防火区画が500㎡以内毎に発生するため、平屋建て案と比較して耐火構造の壁、防火戸の費用がかかる

	令和5年度(2023年度)			令和6年度(2024年度)			令和7年度(2025年度)																	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
工期(両案共通)	STEP1			STEP2			STEP3																	
新築改修工事等	新校舎建設(14ヵ月)			屋内運動場改修、一部増築等(1ヵ月)			既存校舎解体/前庭等整備(8ヵ月)																	
校舎修繕工事等				遊具等整備(6ヵ月)																				
※屋内運動場の工期は改修内容による。																								

STEP1 新校舎建設/屋内運動場改修

STEP2 既存校舎解体/遊具等整備

STEP3 前庭等整備/遊具等整備

凡例

- 児童動線
- 給食、サービス車両動線
- 工事車両動線

※図は平屋建て案で表記しているが、二階建て案も同様。